

地域と未来をつなぎ、自ら伸びようとする児童の育成 ～地域のひと・もの・ことをつなぎ、創り上げ、続ける活動を通して～

尾張旭市立瑞鳳小学校

1 実践のねらい

- (1) 学校と地域が互いに意見を出し合い、魅力ある教育活動を計画・実践し、地域に根ざした開かれた学校づくりをする。
- (2) 地域の多世代の人々や保育園の園児とつながり合い、多様で豊かな人間関係を築く中で、自ら伸びようとする気持ちを高める。

2 実践の内容

(1) 瑞鳳小ふれあい子ども会議（異世代交流会議）

瑞鳳小ふれあい子ども会議は児童会の任期に合わせて、前期2回、後期2回、合計4回開催することにした。地域の自治会をはじめとする各会の代表の方13名(地域連携教育推進委員会：評議員会含む)と児童会役員・議員19名で構成し、共通テーマ「ふれあい活動」と時事テーマについて話し合いをした。

1回目は、時事テーマを「瑞鳳小学校のよいところと課題」とした。児童からは、よいところは「元気がよい」、課題は、「地域との交流が少ない」「あいさつが少ない」などが出た。地域の方からは、よいところは「仲がよい」「まとまりがよい」、課題は、「地域行事への参加」「あいさつ」等の意見が出ました。共通テーマ「ふれあい活動」については、「地域の人や保育園の人と給食を一緒に食べる」「小学生もグランドゴルフ」「地域の方と運動会で大玉転がしなどをしたい」「小学生と園児の交流会をする」など多くの意見が寄せられた。

2回目は、オブザーバーとして校区の議員さん、教育委員会の皆さんにも来ていただいた。時事テーマ「地域防災」では、最初に4年総合的な学習の「地域の防災マップ」を基調提案し、その後、地域防災についてやってみたいこと、してほしいことを、短冊に書き黒板で分類しながら話し合った。「地域の方と避難訓練をする」「AEDや救助袋の使い方を教えてもらう」「避難経路マップを作る」等の意見があり、防災に関する意見交換が活発に行われた。共通テーマ「ふれあい活動」では、運動会・校区スポーツ大会・盆踊りへの参加について、意見交流し、話し合いを深めた。また、このことを児童集会で報告した。

3回目の時事テーマ「地域防犯」では、「防犯ブザーの点検をすること」「110番の家をどう確認するか」「青パトをもっと活用する」「防犯週間を作る」等について話し合った。今回は小グループで話し合いだったため、子どもと大人が膝を交えながら話し合うことができ、地域の方との親近感がより深まった。

(2) 保育園の園児との交流

本校は、保育園が隣接しており、今年度は保育園建て替えのため、本校北館に保育園が仮移転してきた。これを活用し、保育士体験、園児への読み聞かせ、園児と遊ぼう会等を企画した。

ア 5年生保育士体験

12月5日(金)と12月11日(木)に、5年生のキャリア教育の一環として、保育士体験を行った。園庭や多目的室で簡単な遊びをしたり、リースづくりを一緒にしたり、給食の手伝いをしたりした。保育園からは感謝され、5年生は職業観やいたわりの心を育てることができた。また、学校集会で、4名の代表児童が保育士体験について、その大変さや生きがいなどを発表し、働くことの大切さをより一層自覚させることができた。



子ども会議の様子

イ 6年生保育園読み聞かせボランティア活動

6年生は、各学期の読書週間後半に、昼放課、保育園で読み聞かせボランティアを行った。どの子も表情がとてもにこやかになり、いたわりの心が育った。

ウ 園児と遊ぶ会

11月より川南保育園の要請により、月3回昼放課園児と運動場で外遊びをすることになった。1・2年生はひょうたん鬼、3・4年生は島鬼、5・6年生はサンドドッジ等をした。この活動により、保育園との交流も盛んになった。

(3) 地域やお年寄りとの交流

ア 稲作体験を通して交流活動

本地区には、「どろんこ広場」という農地があり、毎年「田植えまつり」と「収穫祭」が行われ、地域の小中学校、保育園の子どもたち、保護者、地域の方々、市長、教育長等多くの方が参加している。今年度は、その一部を5年生が担当した。地域の方に教えていただきながら、6月11日（水）に田植えを、10月16日（木）に稲刈り・はぎ掛けを体験した。また、6年生は、9月5日（金）に地域の方の協力を得て、案山子作りをし、どろんこ広場に設置した。そして、収穫した餅米は、児童館まつりの餅つきや1月のどんど焼きの餅つきで使われた。

また、学校横で行っている朝市で出品するタマネギ・キャベツ等の野菜作りもしている。

イ 給食交流

子ども会議の意向を受け、10月22日（水）、1～3年生は、地域の方25名と給食交流会をした。地域のお年寄りの方は、学校の子どもたちと話をしたり、給食を食べたりして、楽しい一時を過ごした。

(4) 地域の「ひと・もの・こと」を活用した学習

本校近くには、大塚古墳と矢田川があり、地域でも古墳祭りや矢田川清掃をしている。本校では、このことを活用し地域学習をしている。6年生は、大塚古墳の見学会、尾張旭市誌編集委員の稲浪先生を招いての「健康都市・公園都市の尾張旭市」の授業、4・5年生は、環境パートナーシップの方々による川と水の学習会を行った。

(5) 地域ボランティア活動

本校では、毎年敬老の日に合わせて、敬老茶会ボランティアを募集している。今年度は、26名の抹茶ボランティアの子がお手伝いをした。また、校区盆踊り大会で、ジュースの販売のボランティアをした。地域の方と交流しながらボランティア精神を養うことができた。

3 実践の成果や課題

瑞鳳小ふれあい子ども会議を開催し、地域の方と子どもたちが直に話し合うことで、地域に根ざした教育活動ができるようになり、地域との絆も深まってきた。子どもたちも校区に愛着と誇りをもつようになり、地域をもっとよくしたいという気持ちも芽生えてきた。また、話し合ったことが実現できたことにより、成就感や達成感を味わうことができ、伸びようとする気持ちも高まってきた。今後は、市の研究指定校として継続研究し、つながりを大切にした教育をさらに進めたい。



保育園で読み聞かせをする6年生



市長・教育長と田植えをする子どもたち



川の実験をする5年生